

東京災害ボランティアネットワーク 2018年度総会議案書

日時:2018年7月8日(日) 15:00~16:15 場所:

東京YMCA東陽町センター会議室
(江東区東陽町2-2-20 東京YMCA東陽町センター)

議案提案・審議内容

■2017年度活動報告	P02
■2017年度会計報告	P13
■2018年度活動計画	P14
■2018年度予算(案)	P18
■2018年度役員体制(案)	P19
■2018年度運営委員体制(案)	P19

<首都圏大災害に向けた具体的な対応策の検討について>

今後30年間に70%の確率で発生するといわれている首都直下地震をはじめ、首都圏での大災害を想定した被災者支援活動の具体的な対応策について、東京都災害ボランティアセンター アクションプラン推進会議の幹事団体として、またこれまで被災者支援活動を実践してきたネットワークとして、関係の各団体と連携しながら検討をしていきます。

東京都災害ボランティアセンター アクションプラン推進会議での取り組み

2014年7月に設立した東京都災害ボランティアセンター アクションプラン推進会議の幹事団体として、アクションプランの推進に積極的に関わっていきます。

<アクションプランにもとづく取り組み>

①被災者支援・ネットワーク調整事業、②災害VC設置・運営支援事業、③被災情報・支援情報の収集と発信事業、④人材育成事業と、アクションプラン通り4つのカテゴリで取り組みを進めていきます。全ての事業において、アクションプラン推進会議の幹事団体(それぞれのネットワーク参加団体含む)や全体会参加団体、または地域の市区町村社協や関係のあるNPO・NGO団体と協働で実施することで、アクションプランが見据える災害時の被災者支援につながる関係づくりを進めていきます。

◇アクションプランにもとづく主な取り組み

- ①被災者支援・ネットワーク調整事業
 - ◆NPO・NGO担当ブロック制:都内全地区でNPO・NGOと社協ブロックが情報交換できる場を設ける
 - ◆都内ブロック間のネットワークづくり
 - ◆各団体における災害への取り組み状況の把握と共有
 - ◆都の他部局との情報交換会の開催:東京都生活文化局/総務局総合防災部との情報交換会
- ②災害VC設置・運営支援事業
 - ◆「災害ボランティアセンター設置・運営のヒント」の普及
 - ◆被災者支援プログラムの共有と普及
 - ◆ブロック情報交換会の開催(被災者支援・ネットワーク調整事業として実施予定)
- ③被災情報・支援情報の収集と発信事業
 - ◆災害ボランティアセンターにおける広報ガイドラインの普及
- ④人材育成事業
 - ◆講座や訓練と通したブロック内外の団体連携:講座を協働形式で実施
 - ◆2018年9月2日東京都・中央区・港区合同総合防災訓練の場を活用した訓練の実施
 - ◆首都直下地震時の災害ボランティア活動連携訓練の実施
 - ◆勉強会の実施

<アクションプラン推進会議 全体会/幹事会の開催> アクションプランを推進するにあたり、事業推進のための情報収集、事業の推進状況の共有等を図るため、アクションプランに賛同する団体/協力いただいている団体を対象とした全体会を、アクションプラン推進会議 幹事団体を対象とした幹事会を開催します。

◇全体会の開催: アクションプランの進捗状況の確認、企画検討/各団体がおこなう災害ボランティア 関連活動や防災・減災活動に関する情報交換

<参加者> 幹事団体、参加団体、オブザーバー
<頻度> 年に4回実施

◇幹事会の開催： アクションプラン推進会議の運営、アクションプラン推進会議の進捗状況の確認、企画検討/各団体がおこなう災害ボランティア関連活動や防災・減災活動に関する情報交換/次期アクションプラン作成の進め方について検討
<参加者> 幹事団体、オブザーバー
<頻度> 年に6回実施

<次期アクションプランの策定に向けた検討> 2018年度は、これまでのアクションプランの評価と、次期アクションプランの検討を目的に、推進会議と別に委員会を設け、検討することになっている。委員会での検討状況は、推進会議幹事団体・全体会に共有し、推進会議内でも検討し、必要に応じて委員会に意見をを行う。

<その他の取り組み>

東京都災害ボランティアセンターの具体的な役割・機能の整理、アクションプラン推進会議の運営体制の検討等、2018年度は、5か年計画のアクションプラン実施後の取り組みも見据えて活動していきます。

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)での取り組み

2016年11月にNPO法人として発足したJVOADですが、現在は専任の事務局員を置いて、各県のネットワークや関係団体との調整を進めています。東京災害ボランティアネットワークは、運営委員団体のメンバーとして活動に参画していきます。

<地域や組織・団体の防災力向上に向けた取り組み>

例年と同様に、地域や組織・団体の防災力向上に向けた取り組みとして、講師派遣やプログラム提供を実施していきます。また、恒例となっている1.17イベントについても、2019年1月に開催します。

講師・プログラム派遣、委員派遣、委託事業等

講師・プログラム派遣、委員派遣、委託事業は、例年通り、各地域や団体/組織からの依頼を受けて実施していきます。

1.17イベントの開催

2014年度、2016年度に開催した1.17イベントでは、シンポジウムを同時開催しましたが、2017年度はシンポジウムを開催することができませんでしたが、2018年度はシンポジウム等の同時開催を検討していきます。

＜被災者支援活動(交流活動)の取り組みについて＞

被災者支援活動は、東日本大震災(広域避難者支援活動)、伊豆大島土砂災害(復興支援活動)、三宅島噴火災害(訪問・交流活動)の3つの被災地での活動を中心に据えて活動していきます。

東日本大震災被災者支援活動

＜東日本大震災支援全国ネットワークへの参画＞ 東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)の世話人団体の一つとして、JCNの取り組みに参画、および参加・協力します。特に広域避難者支援活動においては、都内での取り組みに対し、広域避難者支援連絡会in東京として積極的に参画していきます。

広域避難者支援活動(広域避難者支援連絡会in東京での取り組み)

＜定例会議の開催＞

連絡会の構成団体が集まり、情報交換や企画検討をおこなう

＜広域避難者支援ミーティングin東京の開催＞ 避難者支援団体や避難当事者団体の交流・連携を促すための情報交換の場をつくる。誰もが参加できる オープン形式と、関係者で構成されるクローズド形式の二つの手法で実施する予定

＜当事者団体との協働事業の実施＞

◇2018年度当事者団体との協働プログラム「ふれあいフェスティバル」日

時:2018年9月30日(日)

場所:都立小金井公園 内容:避難者と支援者による交流イベント

※これら当事者団体との協働事業を実施するにあたり、当事者団体と支援団体で実行委員会を設置し、企画・運営を担っていきます。

＜その他＞

2017年度同様のメールマガジンやホームページによる情報発信に加え、勉強会や当事者団体や関係団体・他県とのネットワーク作りにも力を入れていく予定です。

伊豆大島復興支援活動(大島復興交流プログラムの実施)

＜大島復興交流プログラム＞

日時:2018年秋 場所:伊豆大島

内容:大島福祉まつりと連動した企画 主催:大島復興支援東京ボランティアセンター

(構成団体)大島社会福祉協議会、国際協力 NGO センター(JANIC)、静岡県ボランティア協会、ジャ

パン・プラットフォーム、シャンティ国際ボランティア会(SVA)、東京ボランティア・市民活動センター、東京 YMCA、日本青年会議所関東地区東京ブロック協議会、東京災害ボランティアネットワーク

みやけじま<風の家>を通じた三宅島交流活動

<三宅島もちつき会> 日時:2018年10月
～11月頃 場所:三宅島(みやけじま<風の家>内) 内容:もちつき 等 主催:みやけじま<風の家>

<三宅島年末お掃除ボランティア活動> 日時:2018年11月後半～12月初旬 2回に分けて開催する予定 場所:三宅島 内容:お掃除ボランティア活動/島民による島内一周視察 等 主催:みやけじま<風の家>/東京災害ボランティアネットワーク

<情報発信>

2016年度、2017年度に取り組みなかった東災ポTIMESの定期発行(2ヶ月に一度)を目指します。なお、東災ポTIMESの内容や編集については、事務局会議や運営委員会で検討していきます。

<組織体制の強化>

事務局の体制が変わって3年目となる2018年度は、役員会をはじめ、運営委員会、事務局会議等、組織体制の強化をはかります。上記活動計画(案)も、事務局員1人では実施が難しいこともあり、役員団体・運営委員団体の皆さまをはじめ、さまざまなご協力をお願いさせていただきたいと考えております。